

2025 年度の大学院授業内容（抜粋）

●博士前期課程

授業名称・ 時限	担当者	授業内容
演習Ⅳ	杉本圭子	ミュッセの短編小説『ミミ・パンソン』（ <i>Mimi Pinson</i> , 1843）を読む。パリにおける地方人、職業婦人、学生たちのかわいい恋人、娼婦など、さまざまな顔をもつグリゼット（お針子）たちの生態をふまえ、当時の若者風俗について考察する。
演習Ⅴ	慎改康之	Jean-Paul Sartre, <i>Réflexions sur la question juive</i> を講読し、ユダヤ人問題に関するサルトルの考え方について考察する。
演習Ⅵ	畠山達	ボードレールの詩集『悪の華』をフランス語で読む。フランス語の意味を一字一句、丁寧に読みながら内容の理解に努める。
特殊研究 Ⅵ	ジャック・レ ヴィ	物語のフィクション性や文体の問題を対象にしたいくつかの論文を丁寧に読み、同時に、近年、言語学、文学理論や文芸批評においてどのような傾向がみられるのか、幅広く紹介していく。
留学準備 演習（春 学 期 の み）	マリ・ノエ ル・ボーヴィ ウ	フランスの大学で使われている小論文系練習問題・試験問題の書き方に触れながら、さまざまなフランス語の教材について話す/書く力を身につける。